



平成 30 年 4 月 17 日
日本下水道事業団

B-DASH プロジェクトに JS が共同提案した 3 事業が採択されました
— 総合的な段階型管路診断システム、効率的エネルギー回収・利活用技術、
水処理の AI 支援技術を実現 —

国土交通省が平成 30 年度に実施する下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）※において、日本下水道事業団（JS）が地方公共団体や民間企業と共同で提案していた下記の 3 事業が採択されました。

JS では、これらの実証事業の実施を通じて、下水道資源・エネルギーの利活用や、下水道施設の省エネ・低炭素化、機能維持・向上など、様々な課題に対応した新技術の実用化を積極的に進め、下水道ソリューションパートナーとして、地方公共団体のニーズに応える技術の開発・実用化を促進していきます。

(1) ICT を活用した総合的な段階型管路診断システムの確立にかかる実証事業〈実規模実証〉

- ・事業実施者： クリアウォーターOSAKA(株)、日本下水道事業団、大阪市
- ・実証フィールド： 大阪市
- ・事業概要： ビッグデータ解析による劣化予測システムや ICT を活用したデータ入力・蓄積ツール、点検直視型カメラ等の技術を用いて効率的なスクリーニング及び詳細調査を実施し、低コストで効果的な「総合的な段階型管路診断システム」を確立する。

(2) 高濃度消化・省エネ型バイオガス精製による効率的エネルギー利活用技術に関する実証事業〈実規模実証〉

- ・事業実施者： (株)神鋼環境ソリューション、日本下水道事業団、富士市
- ・実証フィールド： 静岡県富士市東部浄化センター
- ・事業概要： コンパクトなメタン発酵槽、低動力のバイオガス精製装置及び小規模の水素製造・供給装置を組み合わせた、下水汚泥からの効率的なエネルギー回収・利活用システムについて、処理性能、ライフサイクルコスト縮減等を実証する。

(3) AI を活用した下水処理運転管理支援技術に関する調査事業 〈FS 調査〉

- ・事業実施者： (株)安川電機、前澤工業(株)、日本下水道事業団
- ・事業概要： AI 技術を活用した水処理施設の制御設定値の決定を支援する「水処理制御支援技術」及び活性汚泥の処理状態の判断を支援する「画像診断技術」について、実施設の運転管理データや画像データを用いた技術性能の確認等を実施し、導入効果や普及可能性について調査を行う。

※下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）とは、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、国土交通省が実施しているものです。なお、B-DASH プロジェクトは、国土交通省国土技術政策総合研究所の委託研究として実施されます。

(問い合わせ先)

技術戦略部 上席調査役

山下 洋正

TEL : 03-6361-7843

FAX : 03-5805-1828

E-mail : yamashita11@jswa.go.jp